

2026年度

利用の手引

— 放送大学新入生必携 —

北海道学習センター
旭川サテライトスペース



所長あいさつ



新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。この「利用の手引きー放送大学新入生必携ー」には、北海道学習センターや旭川サテライトスペースを利用する上で必要な情報が掲載されています。「学生生活の栞」とともにお手元に置いて活用してください。北海道学習センターWebサイト内の機関誌「てんとう虫」にも、その時々に合わせて必要なお知らせが掲載されます。これらに目を通して大学の制度や仕組みをよく理解し、充実した学生生活を送ってください。

皆さまは、この4月から本学習センター／サテライトスペースの所属学生として勉学に励むべく意気込んでおられることと思いますが、学習を進める上で心に留めておいていただきたいことがございますので、それについて一言申し述べます。

放送大学には教育のためのリソースとして多様で良質な印刷教材や映像等のコンテンツが多数用意されており、勉学を進める上でそれらの効果的な活用はとても重要です。しかし、それ以上に大切なのは学習センターやサテライトスペースにおける「人との出会い」です。通信制大学には、自宅など好きな場所から自分のペースで授業を受けることができるというメリットがある反面、教員から直接学んだり職員に対面でアドバイスを受ける機会が少ないという問題もあります。これに対処するために設置されているのが学習センター／サテライトスペースです。勉学はこつこつと自分のペースで進めることも大切ですが、人と人が議論を交わし、お互い切磋琢磨しながら、それぞれの目標に向かい努力する営為こそが大学や大学院の勉学や研究の醍醐味なのです。皆さまは、この学習センター／サテライトスペースで多くの人たち、教職員、同級生や先輩方に出会うこととなります。また、サークルや同窓会を通じて、他地域の学生やOB/OGとも交流する機会があるかもしれません。

放送大学では教育DXを目標の一つに掲げて、AI時代にふさわしい教育の情報化を進めており、皆さまも新たなICTシステムの便利さを実感することができるでしょう。ただ同時に、私たちが「生きた」知識を自らの血肉として身につけるには、物理的な場を共有して対面で交流することが何よりも重要です。北海道学習センター及び旭川サテライトスペースをそのような場として是非ご活用ください。私たち教職員も、皆さまの勉学を全力でサポートいたします。

北海道学習センター所長 山田 義裕

目 次

| | |
|---------------------------|----|
| 北海道学習センター・旭川サテライトスペースについて | 1 |
| 開所日と利用時間 | 1 |
| 施設の利用案内 | 2 |
| 利用上の留意事項 | 4 |
| 視聴学習室・図書室の利用 | 4 |
| 再視聴施設 / 同窓会 | 6 |
| 学生団体 | 7 |
| [履修一般] | |
| 学習システム | 8 |
| 単位修得までの流れ(放送授業) | 9 |
| 全科履修生(教養学部)の卒業に係る単位修得要件 | 10 |
| 面接授業(スクーリング) | 11 |
| 単位認定試験 | 12 |
| 再試験 | 12 |
| 学習相談 | 12 |
| 基礎ゼミ | 13 |
| 教務情報システム(システムWAKABA) | 13 |
| 学習センター等でのパソコンの利用について | 14 |
| ハラスメントのない学習環境 | 14 |
| 学部の教務及び学生募集スケジュール | 15 |
| 大学院修士課程の教務及び学生募集スケジュール | 17 |
| 大学院博士後期課程の教務及び学生募集スケジュール | 19 |
| 諸手続き・諸証明 | 21 |
| 北海道学習センターの客員教員 | 24 |
| 旭川サテライトスペースの客員教員 | 24 |
| 道・放大生賛歌 | 25 |
| 北海道学習センター案内図 | 26 |
| 旭川サテライトスペース案内図 | 27 |

本冊子は、北海道学習センター・旭川サテライトスペースの利用及び履修関連事項・各種行事・学事日程等をご案内しています。諸事情により、内容を変更したり行事等を中止することがあります。変更等を行う際は、その内容を随時、放送大学及び北海道学習センター・旭川サテライトスペースのホームページでお知らせします。

北海道学習センター・旭川サテライトスペースについて

北海道学習センター・旭川サテライトスペース(以下「学習センター等」という)は、主に次のような業務を担うほか、学生の情報交換の場、相互啓発の場として有意義で実りのある学生生活を送ることができる施設として設置されています。

学生生活に必要な事項は本冊子のほか『学生生活の栞』に網羅されているので参照ください。
 なお、学習センター等を利用するときは、必ず『学生証』を携行してください。

主
な
業
務

- 面接授業(スクーリング)の実施
- 学習相談の実施
- 放送教材の視聴学習室内での視聴
- 図書類の視聴学習室内での閲覧
- 証明書等の発行(北海道学習センターのみ)
- サークル活動等への施設提供
- JR運賃割引証発行(全科履修生・修士全科生・博士全科生)

開所日と利用時間

2026年度開所日

毎週 水曜日から土曜日(月曜日は完全休業日です。)

面接授業のある週は火曜日が休業日です。
 面接授業のない週は日曜日が休業日です。

開所日 国民の祝祭日

お盆休み 8月9日(日)～8月17日(月)

年末年始 12月28日(月)～1月5日(火)

その他 9月13日(日) = 北海道学習センターのみ

1月16日(土)～1月17日(日) = 北海道学習センターのみ

利用時間

・北海道学習センター

| 区 分 | 曜 日 | 利用時間 | 視聴学習室の利用時間 |
|-------------|-----|------------|-------------|
| 面接授業のある週 | 水～日 | 9:30～17:30 | 10:00～17:00 |
| 面接授業のない週 | 火～土 | | |
| 単位認定試験期間 | 同 上 | 同 上 | 閉 室 |
| 面接授業が行われる土日 | | 9:00～17:30 | 10:00～17:00 |

・旭川サテライトスペース

| 区 分 | 曜 日 | 利用時間 |
|----------|-----|------------|
| 面接授業のある週 | 水～日 | 9:00～17:00 |
| 面接授業のない週 | 火～土 | |

(注) 1. 学期末は、機器の点検整備、放送教材及び図書類の整理のため視聴学習室・図書室を閉鎖します。

2. 開所日及び利用時間は、事情により変更することがあります。変更する場合は、北海道学習センターWebサイトに掲示しますが、遠方の方は、念のため学習センター等に確認してから来所願います。

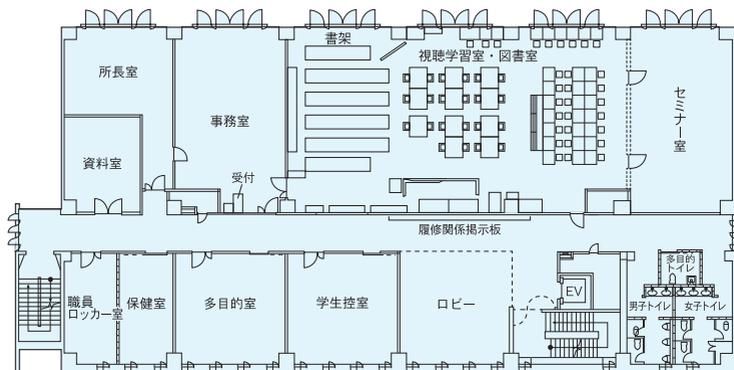
なお、学習センター等の開所日等は北海道学習センターWebサイト内のスケジュール及び「てんとう虫」に掲載します。

※ 全国の学習センター等の開所日及び利用時間は、地域の実情に応じて異なりますので、所属以外の学習センター等をご利用の際はご注意ください。

施設の利用案内

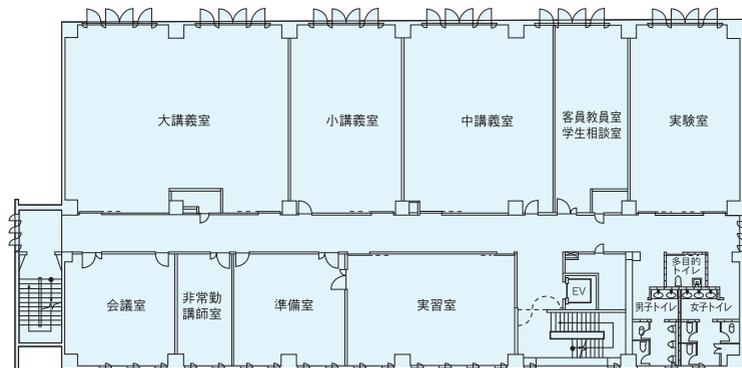
北海道学習センター

5階平面図



| | |
|--------------|---|
| 視聴学習室 図書室 | インターネットによる放送授業の視聴及び印刷教材(テキスト)による学習に利用できます。また、学習の理解を深めるための参考図書を配置しています。 利用するときは、学生証が必要です。必ず携行してください。 利用の方法は、4～6頁(「視聴学習室・図書室の利用」)を参照してください。 |
| 多目的室 | サークル活動等に利用できます(飲食可)。利用するときは、事前に事務室で手続きをとってください。 |
| 学生控室 | 休憩・談話・新聞閲覧等に利用できます。 コイン式ロッカー(無料)を設置しています。 |
| 保健室 | 体調を崩した場合等に休養することができます。 ベッド、車椅子、救急薬品などが備えられています。 |
| 事務室 | 履修に関する相談、学生証、諸証明の発行等を行っています。 事務室窓口あるいは電話等でお気軽にお尋ねください。 |
| ロビー | 気軽に休む場所として、又は、交流の場所として利用できます。 |
| 履修関係掲示板 | 放送授業・面接授業の履修に関すること、単位認定試験に関すること、学習センター等利用案内に関すること等、学生への連絡用として使用していますので、学習センター等に来たときには、必ず見るようにしてください。 |

6階平面図



| | |
|----------|---|
| 大・中・小講義室 | 面接授業(スクーリング)等に利用します。 |
| 実験室 | 実験を伴う面接授業等に利用します。 |
| 実習室 | コンピューター学習等の面接授業等に利用します。 |
| 学生相談室 | 客員教員が学習方法、学習上の様々な相談に利用します。 相談を希望する学生は、事前に事務室に申し出てください。 |

旭川サテライトスペース

| | |
|------------------|--|
| 事務室 (受付カウンター) | 事務室では、視聴学習室や多目的室の利用、一部の申請等の手続きや履修相談などを行っています。 |
| 講堂 | 面接授業(スクーリング)等に利用します。 |
| 視聴学習室 | 放送教材・印刷教材(テキスト)により学習できます。 利用するときは、学生証が必要ですので、必ず携帯してください。 |
| 多目的室 | 学習の合間の休憩、談話、飲食、学生サークル活動等に利用できます。(利用時には事務室に申し出て、学生証を提示してください。) |
| 業務用掲示板 | 放送授業・面接授業の履修に関すること、単位認定試験に関すること、サテライトスペースの利用に関すること等、学生への連絡用として使用していますので、サテライトスペースに来所の際は、必ず見るようにしてください。 |

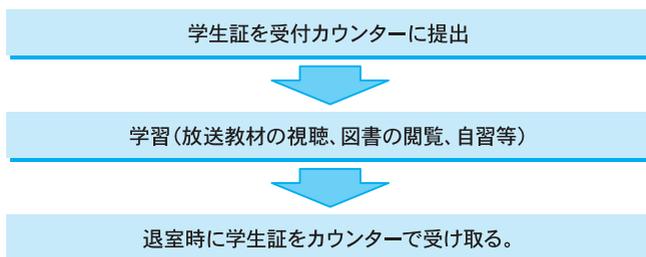
利用上の留意事項

| | |
|----------|---|
| 学 生 証 | 印刷教材・図書等の利用、各種の証明書の発行、視聴学習室の利用等には学生証が必要になりますので、必ず、来所する際には学生証を携行してください。 |
| 駐 車 場 | 北海道学習センターには、身体障がい者専用駐車場(2台分)以外の学生駐車場はありません。また、北海道大学は、学生の車両による通学を禁止するなど一般車両も含めた構内交通規制を行っています。 北海道学習センターは、北海道大学構内にあることから、本学学生もこの規制の対象になり、車両による通学はできません。 旭川サテライトスペースの駐車場は手狭のため駐車できない場合があります。公共交通機関を利用してください。 |
| 電 話 | 外部からの電話の取り次ぎ及び外部への電話には、緊急を要する場合を除き応じることができません。 |
| コイン式ロッカー | 学習に必要な教材等以外の所持品は、学生控室に設置してあるコイン式ロッカーに入れてください。コイン(100円)は使用后、戻ります。 ロッカーの使用は、当日限りです。また、ロッカーの専有は、他の学生の迷惑になりますので、ご遠慮ください。 |
| 喫 煙 | 学習センター等の施設内は、全面的に禁煙になっています。また、北海道大学情報教育館・北海道大学構内及び旭川市常磐館も禁煙となっていますので、ご留意願います。 |

視聴学習室・図書室の利用

視聴学習室・図書室では、放送授業を専用パソコンで視聴できます。また、印刷教材の室内貸出しも行っています(貸出票に記入)。そのほか書架の図書を自由に閲覧することができます。

視聴学習室・図書室の利用方法



【注意事項】

- 食事・休憩等で長時間席を離れるときは、他の学生が利用できるよう協力をお願いします。
- 携帯電話は電源を切るかマナーモードにし、通話・撮影は禁止です。
- 語学学習の発声練習は、他の学生の迷惑となりますのでご遠慮ください。
- 飲食は禁止ですが、条件付きで飲み物摂取を認めています。
- 学習に必要な教材・貴重品以外の手荷物(学生控室のロッカー)をご利用ください。

放送授業の視聴

視聴学習室では、専用パソコン又は学生持込みのパソコンを使用し、放送授業のインターネット配信の視聴による学習ができます。

【注意事項】

○視聴席の予約はできません。

放送教材(DVD・CD)の郵送貸出しによる学習

BS 放送が受信できない、又はインターネット環境がない等、家庭等に放送授業を視聴する環境がない場合でも、放送教材(DVD・CD)を郵送にて放送大学本部(千葉県千葉市)から自宅に取り寄せることができます。なお、申し込み方法(郵送、FAX、インターネット)等の詳細は『学生生活の栞』を参照してください。

図書の利用

学習センターの図書室に備えられている図書は直接書架から自由に取り出し、閲覧することができます。

また、備え付け雑誌も配架していますのでご利用ください。閲覧終了後の雑誌は元の配架場所に戻していただき、図書及び借りた印刷教材は指定の返却ワゴンに入れてください。

なお、学習センター所蔵図書の貸出は行っておりません。

◆蔵書検索OPAC

OPACはインターネットを介して利用できる蔵書検索システムです。放送大学OPACでは附属図書館(本部図書館)及び学習センターで所蔵する図書・雑誌・放送教材・参考図書・電子ブックを検索することができます。附属図書館で所蔵している一般図書はOPACで予約・取寄申込ができます。貸出・返却は学習センターで取次、もしくは自宅配送(有料)で行います。一般図書以外の資料は学習センターへ取寄せ、視聴学習室内で閲覧することができます。

OPACでは他大学図書館の資料の検索や文献複写の申込(有料)、及び図書購入リクエスト等もできます。詳しくは放送大学附属図書館ホームページをご覧ください。

・附属図書館 (<http://lib.ouj.ac.jp/>) ・OPAC (<http://catalog.ouj.ac.jp>)

◆北海道大学・北海道教育大学・函館大学附属図書館の利用

学習センター等所属の学生は上記3大学の附属図書館を利用することができます。利用できる範囲、サービスを受けられる範囲は、それぞれ異なります。また、**利用は各大学のご厚意によるものであり権利として与えられているものではありません**。利用の際は、各大学の利用規則及び図書館職員の指示に従ってください。

【北海道大学附属図書館】

事前に当学習センターで手続きが必要です。事務室の受付にお申し出ください。その上で、附属図書館から「利用証」が交付されます。

【北海道教育大学附属図書館・函館大学附属図書館】

学習センター等での事前の手続きは必要ありません。学生証を携行の上、直接附属図書館に行き、指示に従ってください。

その他の利用

◆文献複写

図書室の図書・資料の複写を希望するときは、受付で「文献複写申込書」に必要事項を記入してください。(複写料金 モノクロ 1枚 10円、カラー 1枚 50円)

なお、文献複写には著作権上の制限があります。詳しくはお問い合わせください。

再視聴施設

学習センター等のほか再視聴施設として、各市教育委員会等の協力の下に次の2学習室がありますので、近隣の学生は、予習、復習の他、学生の交流の場としても大いに活用してください。

なお、視聴を希望する科目の有無、開設曜日及び時間など利用方法等については、各施設に問い合わせください。

- 帯広学習室 帯広市「とかちプラザ」 帯広市西4条南13丁目1番地 電話0155-22-7890
- 北見学習室 北見市「北見市立中央図書館」北見市泉町1丁目2番21号 電話0157-57-4646

同窓会

学部卒業生、大学院修了生、一定の年数以上在学した方等は、母校への支援・発展に寄与すること、卒業生や在学生等との親睦を図ることなどを目的とした同窓会へ入会することができます。

| 団 体 名 | 責任者 | 目 的 |
|----------|-------|--|
| 北海道同窓会 | 中根恵美子 | 会員が生涯学習の理想の実現を目指すとともに、相互の親睦並びに母校の発展と全国の同窓との交流を図る。 |
| 北海道同窓会旭川 | 山崎典美 | 会員の親睦と情報交換及び相互研鑽を図り、生涯学習の実現を目指すとともに母校の発展に寄与し、全国の同窓との交流を図る。 |

学生団体(サークル)

学生は、学生団体(サークル)を結成し、互いに啓発し合い、親睦を深め合うことができます。学生団体(サークル)を結成しようとするときは、学習センターの所長を通じて学長からの許可を得るために所定の手続きが必要です。現在の学生団体(サークル)は、次のとおりです。(年度中に設立・解散する団体や責任者が変更となる場合があります。)

北海道学習センター

2026年3月1日現在

| 団体名 | 責任者 | 目的 |
|----------------|-------|--|
| 北海道学習センター学友会 | 石川嘉保 | 学生相互(同窓生を含む)の研鑽、親睦・交流を図り、さらに学生の声を集約し、より良い学校環境を創る。 |
| English Circle | 市川喜通 | 学生同士が英語をよく学び、大学生生活に役立てながら互いに励ましあう。 |
| Health Circle | 大橋ちよ子 | 健康生活についての学習・研究・実践を行いながら、精神と身体バランスを図り、すこやかな社会生活に役立つよう活動する。 |
| 道史学習サークル | 八町史郎 | 郷土北海道の歴史について学習し、広く郷土を理解する。 |
| 語学研究会 | 大橋ちよ子 | 語学についての学習・研究・実践を行いながら人的交流を図り、実生活に役立つように活動する。 |
| 源氏物語を学ぶ会 | 阿部博美 | 日本文学の古典である「源氏物語」を深く長く親しみながら学び、仲間作りを大切にし、学業生活を充実させる。 |
| うたの会 | 中根恵美子 | 豊かな人生の糧として、うたを通した広い文化活動を楽しむ。 |
| フランス語サークル | 谷口美恵 | 学生同士がフランス語を学び、教養を高めながら互いに励ましあう。 |
| パソコン学び隊 | 島田静香 | 日常的なパソコン利用についての技術や知識を取得する。 |
| 自学発表サークル | 三浦広夢 | 自主的に学習(自学)した内容を発表し、より深い学習と交流を行う。 |
| 帯広学友会 | 遠藤延義 | 会員の研鑽と会員の親睦・融和を図る。 |
| キャンパスメールクラブ | 湊博喜 | グループメールの運用を行うことにより、情報の共有を図るとともに、放送大学に在籍する学生相互の研鑽、親睦、交流を図る。 |
| VR研究会 | 山下竜治 | バーチャルリアリティ(VR)技術の体験・共有を通じて、会員相互の交流と技術理解を深める。 |

旭川サテライトスペース

| | | |
|---------------|-------|---|
| 旭川学友会 | 浦波優美子 | 学生生活を充実させるため、各種事業を実施し、親睦を図る。 |
| 歴史学読書サークル | 梅野牧 | 日本史、世界史についての題材の発表や歴史関係の書籍紹介・DVD視聴会などの活動を通じて歴史学に親しみ、大学生生活を充実させる。 |
| 現代経済事情研究会 | 梅野牧 | 世の中で起きている経済に関する出来事について、新聞・雑誌などの記事を題材として、その背景について会員相互で意見交換し、研鑽を図る。 |
| 旭川サテライト英語サークル | 芦口充 | 英語のリスニングや簡単な表現、発音を重視した英会話を学んで、英語のコミュニケーション能力を高める。 |

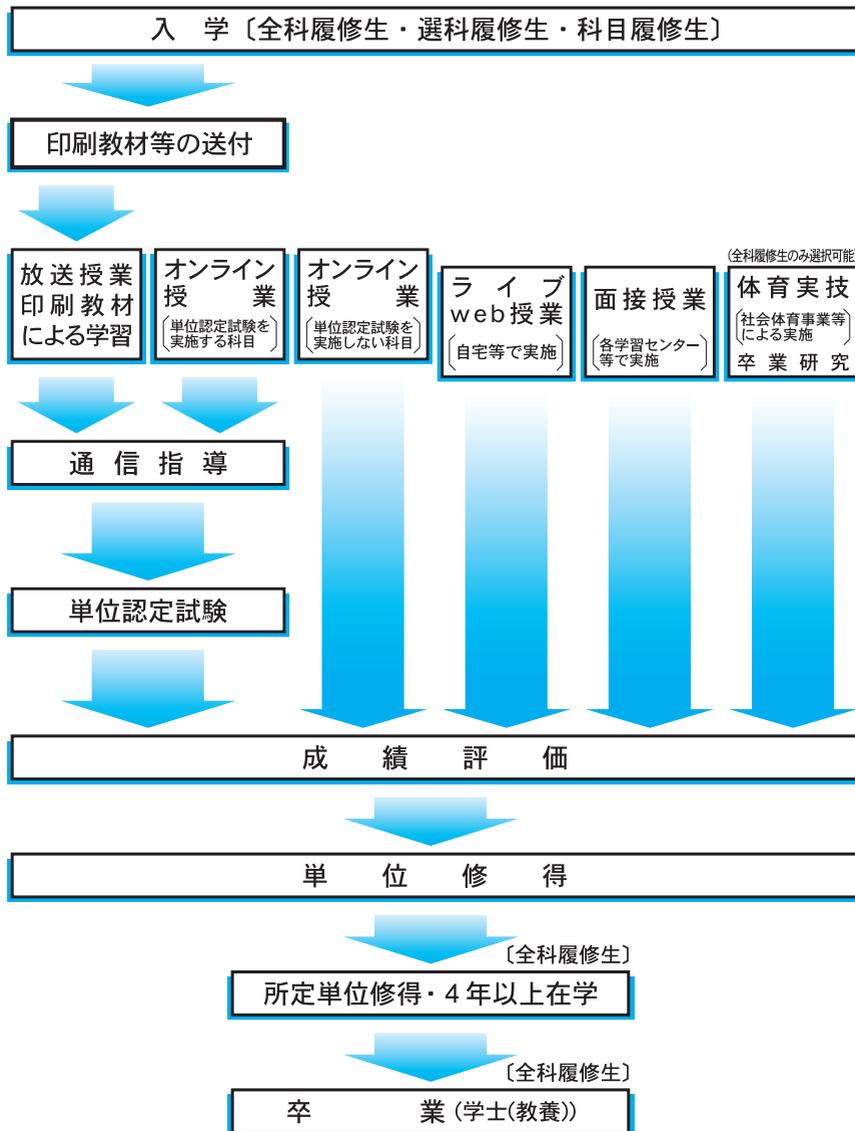
学生団体(サークル)活動のため学習センター等施設の使用を希望するときは、事前に事務室で使用許可を得てください(そのほか学生団体については『学生生活の栞』を参照)。

学習システム

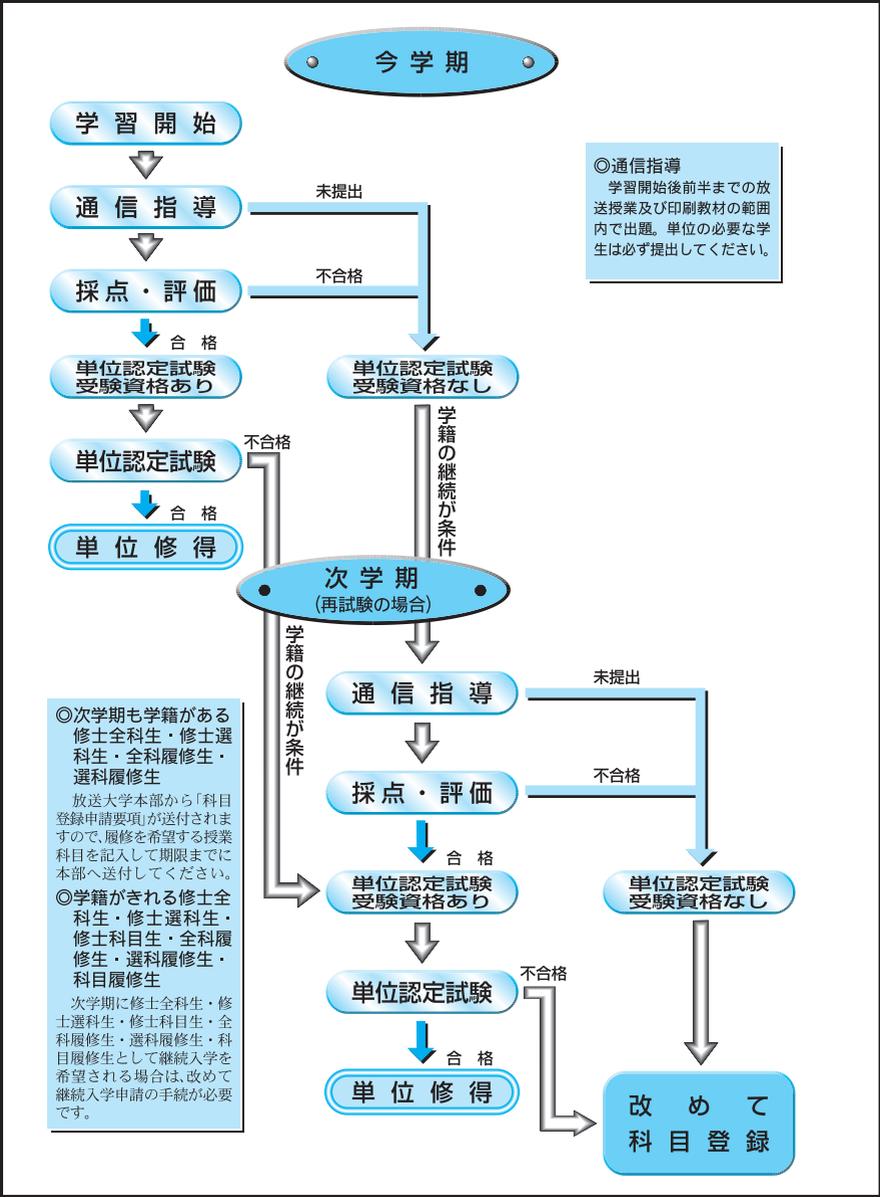
学部【教養学部】

放送大学の授業は、放送授業、オンライン授業、ライブweb授業及び面接授業の4つの形態により行われます。

その他に、全科履修生のみ履修が可能な体育実技と卒業研究があります。学習システムの概要は、次のようになっています。



単位修得までの流れ（放送授業）



全科履修生(教養学部)の卒業に係る単位修得要件(2024年度以降のカリキュラム)

| | | | | |
|---------------|-------------------|--|--------------------|-----|
| 卒業要件に係る単位数 | 放送授業により修得すべき最低単位数 | 面接授業又はオンライン授業により修得すべき最低単位数 | 授業形態を問わず修得すべき最低単位数 | 計 |
| | 74 (注1) | 20 (注2) | 30 (注3) | 124 |
| 単位修得基準 | | | | |
| 科目区分及び単位数 | | 最低修得要件 | | |
| 基礎科目 | 14 | 基礎科目のうち外国語科目から2単位修得 | | |
| 導入科目 | 76 | 自コース開設科目(導入、専門、総合)から34単位、 他コース開設科目(導入、専門、総合)から4単位を修得、 残りはコース及び科目を問わずコース科目内から38単位修得 | | |
| 専門科目 | | | | |
| 総合科目 | | | | |
| 自由選択 | 34 | 上記の「基礎科目」、「コース科目」の区分を問わず、 開講されているすべての授業科目を自由に選択し、34単位修得 | | |

124

授業科目の履修方法等については、「放送大学授業科目案内」の「履修科目案内図」を参考にするとともに、「放送大学授業科目案内」を参考にしてください。

備 考

①卒業研究の6単位は、3単位を放送授業、3単位を面接授業の単位として認定される。
 ②卒業研究の6単位は、所属する自コースの専門科目として認定される。
 ③卒業研究は、2年以上在学し、62単位以上修得しなければ履修申請できない。履修期間は1年間(2学期間)とする。
 ただし卒業研究は、必修科目ではない。
 (注1)卒業要件として放送授業は、科目区分にかかわらず、74単位以上修得する必要がある。
 (注2)ライブWeb授業科目は、卒業要件上は「面接又は、オンライン授業」として取り扱う。
 (注3)オンライン授業科目「教育課程の意義及び編成の方法(15)」については、卒業要件上「授業形態を問わない単位数」として取り扱う。

放送授業のほかに、北海道学習センター等では、面接授業を実施します。
面接授業は、講義担当講師と対面で受ける授業で、毎学期開講されます。

(1) 実施形態

連続する土曜日・日曜日の2日間に、90分の授業を7回、45分の授業を1回、計8回行われます。また、授業時間とは別に試験・レポート等が行われます。

① 開講期間 (2026年度の場合)

第1学期 2026年4月18日(土)～2026年7月26日(日)

第2学期 2026年10月17日(土)～2027年1月24日(日)

② 授業時間帯

[北海道学習センター](1日目)

第1時限 09:30～11:00

第4時限 15:20～16:50

第2時限 11:15～12:45

※第5時限 17:05～18:35

第3時限 13:35～15:05

[北海道学習センター](2日目)

第1時限 09:30～11:00

第4時限 15:20～16:05

第2時限 11:15～12:45

試験・レポート等 16:05～16:50

第3時限 13:35～15:05

※第5時限 17:05～18:35

※第5時限目は該当する科目のみ

[旭川サテライトスペース](1日目)

第1時限 09:30～11:00

第4時限 15:10～16:40

第2時限 11:10～12:40

第3時限 13:30～15:00

[旭川サテライトスペース](2日目)

第1時限 09:30～11:00

第4時限 15:10～15:55

第2時限 11:10～12:40

試験・レポート等 15:55～16:40

第3時限 13:30～15:00

(2) 単位

面接授業の単位は、各科目とも1単位です。

全科履修生は、卒業要件の単位として20単位以上の(オンライン授業も含める)を修得しなければなりません。

(「全科履修生(教養学部)の卒業に係る単位修得要件」(10頁)参照)

- (3) 面接授業を受講するためには、「科目登録申請要項」、「面接授業開設科目一覧」及び「面接授業時間割表」から希望する次学期の面接授業を確認し、申請期間内に「放送大学教務情報システム(システムWAKABA)の教務情報→科目登録申請」から申請する、あるいは、科目登録申請票を大学本部へ提出する必要があります。また、科目登録の受付結果、定員に満たない科目が生じた場合は、学習センター等において追加登録の受付を行います。この場合、空席状況及び申請時期・方法等については、学習センターに掲示しますが、空席情報はシステムWAKABAによりリアルタイムで確認できます。

(主) 面接授業の科目登録の場合には以下の点に注意願います。

面接授業には、北海道学習センター(札幌市)及び旭川サテライトスペース(旭川市)以外の会場で実施される科目があります。科目登録の際には、「面接授業開設科目一覧」「面接授業時間割表・科目区分別開設科目一覧・授業概要(北海道学習センター)」等の記載事項(科目名、科目コード等)に十分ご留意するとともに実施会場を再度確認願います。

単位認定試験

- 2026年度の単位認定試験は放送授業及び一部のオンライン授業で実施します。実施方法は基本的にWeb受験方式です(一部科目は郵送受験方式です)。

第1学期：2026年7月14日(火) 9:00～7月22日(水) 17:00 (択一式科目)

第2学期：2027年1月17日(日) 9:00～1月25日(月) 17:00 (択一式科目)

- Web受験方式とは、自宅等からインターネットを通じてWeb単位認定試験システムにアクセスし、50分の試験時間内で問題を閲覧し解答を提出するものです。
 - 受験に使用する予定の端末から、単位認定試験期間前までに必ず「Web単位認定試験体験版※」を操作し、事前に操作方法を確認してください。
 - ※Web単位認定試験体験版のアクセス方法：放送大学のホームページからシステムWAKABAにログインしてWeb単位認定試験システムからアクセス
- ※本学大学院の単位認定試験ではWebカメラによる本人確認を行います。

再試験

科目登録した学期の単位認定試験を受験できなかったか又は不合格であった場合は、次の①から③の要件のいずれかを満たしていることにより、次の学期に限り、科目登録を行わなくても単位認定試験を受験できます。(オンライン授業科目を除く。*)

- ① 学部の全科履修生・選科履修生又は大学院の修士全科生・修士選科生で次の学期に学籍がある
- ② ①の学生が卒業又は満期になることにより次の学期に継続入学の出願をしている
- ③ 学部の科目履修生又は大学院の修士科目生で次の学期に継続入学の出願をしている(『学生生活の葉』を参照)

※「教育課程の意義及び編成の方法(15)」は再試験を実施します。

学習相談

学習内容・学習方法等修学全般に関することあるいは進路指導等については、客員教員が対面、電話、Zoomで相談に応じます。学習相談を希望する学生は、希望相談日の1週間前までに「学習相談票」を事務室に提出してください。相談日は、調整したうえで決めます。

客員教員の相談日程・時間は、各学期開始後(4月初旬・10月初旬)本センターWebサイトに掲載される「てんとう虫」でお知らせしています。

また、放送授業・印刷教材(テキスト)に関する質問については、『学生生活の葉』を参照してください(巻末の質問票を使用すること。)

なお、科目登録及び単位修得等に関する質問は、電話等でも随時受け付けています。

基礎ゼミ

放送大学はBSテレビ・ラジオ、インターネットを通じて学習する通信制の大学です。しかし通信制大学では、通学制大学のように文献の探し方や専門書の読み方を学び、課題レポートを作成することで論文作成の基礎力を身につける機会はあまり多くありません。

北海道学習センターと旭川サテライトスペースでは、論理的思考力や文献読解力、論文作成力の向上を目的とした「基礎ゼミ」を各学期に開講しています。基礎ゼミは北海道学習センター、旭川サテライトスペースの客員教員が担当し、研究論文の読み方、論理的文章の作成などの学習をゼミ方式により学生と議論しながら進めていきます。

各学期の開講予定及び募集内容については、北海道学習センターWebサイト内の「てんとう虫」でお知らせします。

また、卒業研究の履修を希望する方は、基礎ゼミの受講を推奨します。

- 開講時期：第1学期8～9月、第2学期2～3月
- 定員：各ゼミ10名
- 日程：原則、土曜日に90分のゼミを4回実施

教務情報システム(システムWAKABA)

放送大学では学修をサポートするため、学生本人の学籍情報や成績情報を閲覧したり、科目登録申請などが行える教務情報システム(システムWAKABA)を提供しています。インターネットに接続されたパソコン等からWebブラウザ(Google Chrome, Microsoft Edgeなど)があれば、アクセスできますので、ご利用ください。

(1) ログイン(アクセス)

本学ホームページのトップページ上部「在学生(WAKABA)」ボタンからアクセスしてください。ログインするためのログインID及びパスワードは、入学許可書に記載しています。なお、不正利用を防ぐためパスワードを変更してからログインします。

(2) 主な機能

①教務情報機能

- ・学生カルテ
(学籍情報、住所・連絡先情報、
単位修得状況情報 他)
- ・変更・異動手続
- ・履修成績照会
- ・単位認定試験時間割
- ・出願・科目登録申請
- ・シラバス検索 他

②キャンパスライフ機能

- ・学内連絡(大学から・学習センターからのお知らせ)
- ・スケジュール(放送授業の予定、他)
- ・学内関連(学習案内、各種届出・申請様式 他)



③授業サポート機能

- ・授業連絡(履修する放送授業に関する主任講師からのお知らせ)
- ・授業共有ファイル(通信指導問題の掲載)
- ・資料室(印刷教材の正誤表・卒業研究等)
- ・談話室(一部の放送授業科目に関するコミュニケーション機能)

④学内リンク

- ・放送授業(放送授業のインターネット配信、Web通信指導、Web単位認定試験 他)
- ・オンライン・面接授業等
- ・その他リンク

⑤キャンパスメール機能

- ※随時メールチェックを行ってください

※モバイル端末からの利用について

システムWAKABAは、タブレットPCやスマートフォンなどのモバイル端末にも対応しています(ただし、一部機能には制限があります)。

学習センター等でのパソコンの利用について

北海道学習センター及び旭川サテライトスペースでパソコンを利用する場合は、利用者ご自身でパソコン等を持参いただきます。また、その際には、Wi-Fiでの接続となります。予め、システムWAKABA「学内リンク-放送大学自己学習サイト」にある情報セキュリティ研修(学生用)を受講後、「キャンパスライフ」の「各種届出・申請様式」「無線LAN利用申請(オンライン)について」から申請してください。

なお、放送授業は、視聴学習室でインターネット視聴用端末により視聴いただけます。

ハラスメントのない学習環境

何気ない言動、相手のためと思って行った言動、相手も同意していると思った行為であっても、ハラスメントとして受け取られることがあります。学生の皆様が安心して学ぶことができる豊かな学習環境を提供するために、次のことにご協力をお願いします。

1. 相手の人格を尊重した適切な言動・行為を心がけましょう。
2. 不快な思いをした時はその場を離れるなど安全な場所に移動して、落ち着いて対応を考えましょう。「NO」と言える場合は伝えましょう。
3. 周りで困っている人を見かけた時は、「大丈夫ですか。」と声をかけてあげましょう。
4. 不快な思いをした時は一人で抱え込まず、信頼のおける人に相談しましょう。学習センターにはハラスメント相談窓口(相談員：所長、事務長)を設けています。相談員には守秘義務があり、プライバシーは厳守されますので、安心して相談してください。

2026年度 学部】教務及び学生募集スケジュール

| | 第 1 学 期 | | | | | | |
|------------------------------------|---|----|--------------------|------------------------|--------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|
| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 授 業 | <放送授業> 1日～ | | | | 14日 | 15日～ | 30日 |
| | <オンライン授業> 3日～ | | | | 中旬 | 31日 | (夏季学習期間 = 再放送等) |
| | <ライブWeb授業> 1日～ | | | | 中旬 | 31日 | (科目別に7月中旬までに課題締切設定、その後8月31日まで閲覧可能) |
| | <面接授業> 18日 | | | | 26日 | | |
| 成 績 管 理 | | | 7日～27日 通信指導提出期間 | 下旬 試験通知 | 14日～22日 単位認定試験 | 17日 成績通知発送 | |
| | | | | | 31日 体育実技単位認定申請期限 | 12日 卒業認定(システムWAKABA) | 13日 成績発表(システムWAKABA) |
| 履 修 事 務 | WAKABA学期開始処理 中旬 <科目登録> 17日 ◎ 面接・ライブWeb授業空席発表 | | | | 中旬 ◎ 第2学期科目登録申請要項等発送 | 中旬 ◎ 第2学期科目登録決定通知書発送 | |
| | 17日～ | | | | 12日 | 初旬 ◎ 面接・ライブWeb授業抽選 | |
| | 第1学期面接・ライブWeb授業追加登録期間 | | | | 15日～31日(Web)・30日(郵送) 第2学期科目登録申請受付 | | |
| | 下旬 ◎ 授業料振込期間 | | | | | 中旬～下旬 ◎ 授業料払込期間 | |
| 中旬 ◎ 印刷教材等発送<卒業研究> | | | | | | 中旬～ ◎ 印刷教材等発送 | |
| 上旬 ◎ 卒業研究履修許可通知発送 <既修得単位> | | | | 6日 ◎ 卒業研究ガイドンス | 13日～20日 ◎ 2027年度卒業研究履修申請(新規) | | |
| 中旬～ | | | | 上旬 ◎ 既修得単位認定通知発送 | | | |
| 既修得単位認定処理 | | | | | | | |
| 学 生 募 集 | | | | | 10日～ | 9日 | |
| | | | | | 2026年度第2学期募集要項配付 | | |
| | | | | | 10日～ | 31日 | 1日～9日 |
| | | | | | 受付期間(第1回) | | |
| | | | | | 受付期間(第2回) | | |
| | | | | | 合格通知発送 | | |
| | | | | | | 下旬 ◎ 成績認定後合格通知発送 | |
| 上旬 ◎ 入学料・授業料払込期間 | | | | | | 入学料・授業料払込期間 | |
| 中旬 | | | | | | 下旬～ | |
| 入学許可書発送 | | | | | | 入学許可書発送 | |
| 中旬 | | | | | | 下旬～ | |
| 印刷教材等発送 | | | | | | 印刷教材等発送 | |

(注)このスケジュールは、2026年2月現在のものであり、変更となる場合があります。

| 第 2 学 期 | | | | | |
|---|-------|-------|-----|-----|-----|
| 1 0 月 | 1 1 月 | 1 2 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 |
| <放送授業> ※第2学期の番組編成期間及びその名称については、令和8年5月ごろ開催の放送番組委員会を経て決定する予定 1日～ 13日 14日～ 31日 (冬期学習期間 = 再放送等) | | | | | |
| <オンライン授業> 5日～ 中旬 1日 (科目別に1月上旬までに課題締切。その後、3月1日まで閲覧可能。) <ライブWeb授業> 30日～ 中旬 1日 (1月中旬までに授業実施。その後、3月1日までアクセス可能。) <面接授業> 17日 24日 | | | | | |
| 5日～25日 通信指導提出期間 下旬 試験通知 17日～25日 単位認定試験 16日 成績通知発送 12日 成績発表(システムWAKABA) 下旬 学位記授与式(本部主催) 1日 卒業研究報告書提出期限 31日 10日 体育実技単位認定申請期限 卒業認定(WAKABA) | | | | | |
| WAKABA学期開始処理 中旬 <科目登録> 中旬 第1学期科目登録申請要項発送 第1学期科目登録決定通知書発送 16日 面接・ライブWeb授業・空席発表 初旬 面接・ライブ Web 授業抽選 16日～ 10日 第2学期面接・ライブWeb授業追加登録期間 13日～28日(Web)・27日(郵送) 第1学期科目登録申請受付 中旬～下旬 授業料払込期間 中旬～ 印刷教材等発送 上旬 <卒業研究> 12日～19日 卒業研究二次申請・再履修申請(報告書未提出者) 1日～6日 卒業研究再履修申請(不合格者) 中旬 <既修得単位> 中旬～ 既修得単位認定処理 上旬 既修得単位認定通知発送 | | | | | |
| 26日～ 15日 2027年度第1学期募集要項配付 26日～ 28日 1日～ 15日 受付期間(第1回) 受付期間(第2回) 下旬 合格通知発送 下旬 成績認定後合格通知発送 下旬～ 入学料・授業料払込期間 中旬～ 入学許可書発送 下旬～ 印刷教材等発送 | | | | | |

| 第 2 学 期 | | | | | | |
|---|-------|-------|-----|-----|-----|-----|
| 1 0 月 | 1 1 月 | 1 2 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 |
| <放送授業> ※第2学期の番組編成期間及びその名称については、令和7年5月頃開催の放送番組委員会を経て決定する予定 1日～ 13日 14日～ 31日 | | | | | | |
| <オンライン授業> 5日～ (年末・学始学習期間) (冬期学習期間 = 再放送等) 1日 (科目別に1月中旬までに課題締切。その後、3月1日までに観覧可能。) | | | | | | |
| 5日～ 25日 通信指導提出期間 下旬 試験通知 17日～25日 単位認定試験 16日 成績通知発送 10日 修了認定 下旬 学位記授与式 (本部主催) | | | | | | |
| 中旬 第1学期科目登録申請要項発送 13日～27日(郵送)28日(Web) 第1学期科目登録申請受付 上旬 中旬 第1学期科目登録決定通知書発送 中旬～下旬 授業料振込期間 中旬～ 印刷教材等発送 | | | | | | |
| 上旬 26日～ 2027年第1学期募集要項配付(修士選科生・科目生) 15日 26日～ 受付期間(第1回) 28日 1日～ 15日 受付期間(第2回) 下旬～ 合格通知発送(修士選科生・科目生) 下旬 合格通知発送 下旬～ 入学料・授業料払込期間 中旬～ 入学許可書発送 下旬～ 印刷教材等発送 | | | | | | |
| 3日 第1次選考(筆記) 14日・15日 第2次選考(面接) 14日～22日 14日～20日 プログラム第1次選考(臨床のみ13日～22日) プログラム第2次選考 30日 第1次選考合否通知 18日 第2次選考合否通知 13日～27日(郵送)28日(Web) 第1学期科目登録申請受付 上旬～中旬 第1学期科目登録決定通知書発送 中旬 下旬 入学料・授業料振込期間 中旬 上旬 入学許可書、印刷教材等発送 | | | | | | |
| 18日 研究レポート提出期限 18日 修士論文提出期限 上旬～ 下旬 修士論文等審査期間(口頭試問含む) | | | | | | |

2026年度 大学院博士後期課程】教務及び学生募集スケジュール

| | | 第 1 学 期 | | | | | | |
|------------------|--------|-------------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------|---|---------------------------|-------------------|
| | | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | |
| 授 業 | 第 1 年次 | 11日・12日 ◄→ 「持論」集中講義(前半) | 中旬～ ◄→ 「持論」集中講義(後半) | 中旬 | | 13日 ◎ 成績発表(システムWAKABA) | | |
| | 第 2 年次 | 1日 ◄→ 「研究法」 | 上旬 ◎ レポートⅠ提出期限 | | 上旬 ◎ レポートⅡ提出期限 | | 17日 ◎ 成績通知発送 | |
| 研 究 指 導 | 第 1 年次 | ◄→ (研究計画書の作成及び事例研究等) | | プログラム報告会 | | | | |
| | 第 2 年次 | 11日 ◎ 入学時オリエンテーション | | | | | | |
| | 第 3 年次 | ◄→ (博士論文の中心的な柱となる論文作成等) | | | | | | |
| | 第 3 年次 | ◄→ (博士論文の作成) | | | 下旬 ◎ 予備論文審査願提出 | 中旬～ ◄→ 予備論文審査及び口頭試問 | 中旬 ◎ 予備論文審査結果伝送 | |
| 科 目 登 録 | | | | 中旬 ◎ 第2学期科目登録申請要項発送 | | 15日～30日(郵送)31日(Web) ◄→ 第2学期科目登録申請期間 | 上旬 ◎ 第2学期科目登録決定通知発送 | |
| | | | | | | 中旬 ◄→ 授業料払込期間 | 下旬 | |
| 入 試 | | | 10日 ◄→ 身障者特別措置申請期間 | 10日 | | 10日 ◄→ 出願資格事前審査申請期間 | 15～25日 ◄→ 出願受付期間 | 11日 ◎ 受験票発送 |
| | | | 10日 ◄→ 募集要項配布(博士全科生) | | 25日 | | | |

(注)このスケジュールは、2026年2月現在のものであり、変更となる場合があります。

| 第 2 学 期 | | | | | | |
|---------------------------|--------------------------|-------|-------------------------------|--|-------------------------|-----|
| 1 0 月 | 1 1 月 | 1 2 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 4 月 |
| 1日 ~ 「研究法」 | | | 31日 | 12日 ◎ 成績発表(システムWAKABA) | | |
| | | | | 16日 ◎ 成績通知発送 | | |
| 1日 ~ 「研究法」 | | | 31日 | 12日 ◎ 成績発表(システムWAKABA) | | |
| | | | | 16日 ◎ 成績通知発送 | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | 12日 ◎ 成績発表 | 下旬 ◎ 学位記授与式(本部主催) | |
| | 下旬 ◎ 論文審査願提出 | 中旬 ~ | 中旬 | 10日 16日 ◎ ◎ 修了認定 成績通知発送 | | |
| | | | 中旬 ◎ 第1学期科目 登録申請要項発送 | 13日~27日(郵送)28日(Web) ◎ 第1学期科目登録申請期間 | | |
| | | | | 上旬 中旬 ◎ ◎ 第1学期科目登録決定通知 | | |
| | | | | | 中旬 下旬 ◎ ◎ 授業料払込期間 | |
| | | | 中旬 ◎ 第1学期科目登録 申請要項発送 | 13日~27日(郵送)28日(Web) ◎ 第1学期科目登録申請期間 | | |
| | | | | 上旬 ◎ 第1学期科目登録決定通知 | | |
| 3日 ◎ 第1次選考(筆記) | 7日 ◎ 第2次選考(面接) | | 29日 ◎ 入学料払込期限 | | 中旬 下旬 ◎ ◎ 授業料払込期間 | |
| 13日~16日 ◎ プログラム1次選考 | 7日~12日 ◎ プログラム2次選考 | | | | 中旬 ◎ 入学許可書発送 | |
| | 30日 ◎ 第1次選考合格通知 | | 18日 ◎ 第2次選考合格通知 | | | |

諸手続き・諸証明

住所等の変更手続き

(1) 住所等の変更

- ①「現住所」、「連絡先の電話」に変更が生じたときは、②の i) 又は ii) により速やかに手続きをしてください。
- ② 手続方法：i) システムWAKABA(-教務情報-変更・異動手続から申請する。)
ii) 「学生生活の葉」の巻末にある「住所等変更届」を③に提出する。
- ③ 変更届提出先：学 部：北海道学習センター事務室（情報教育館5階）
大学院全科生：大学本部教務課
大学院修士選科生・修士科目生：大学本部学生課
- ④ 科目登録申請要項、面接授業時間割表、単位認定試験受験票等が大学本部から現住所に郵送されます。郵便局にも必ず転居届を提出してください。

(2) 氏名、カリキュラム、所属(コース・専攻)及び所属学習センターの変更

| 変更等事項名 | 提出書類 | 提出時期 | 提出先 |
|-----------------|--------------------------------------|---|--|
| 氏 名 | 氏名等変更届 (学生証再発行の手続きも併せて行う必要があります。) | 改 姓 後 速 や か に | 学部・修士選科生・修士科目生 大学本部学生課 大学院修士全科生・博士全科生 大学本部教務課 |
| カリキュラム移 行 | カリキュラム移行届 | ・2026年度2学期からの変更 2026年6月7日(日)(必着) | 学部生 |
| 所 属 (コース専 攻) | 所属(コース専攻)変更願 | ・2027年度1学期からの変更 2026年12月7日(月)(必着) | 大学本部学生課 |
| 所 属 学 習 セ ン タ ー | 所属学習センター変更願 | ・2026年度2学期からの変更 2026年8月10日(月)(必着) ・2027年度1学期からの変更 2027年2月8日(月)(必着) | 学部・修士選科生 大学本部学生課 大学院修士全科生・博士全科生 大学本部教務課 |

- 手続方法：i) システムWAKABA(教務情報-変更・異動手続)から申請する。
ii) 各届(提出)様式に記入し、提出先へ郵送等する。

提出書類は、『学生生活の葉』の巻末に様式が添付されています。

学生証の交付

学生証は、本学の学生であることを証明する身分証明書であり、学習センター等を利用するときに必要になります。

学生証は、所属学習センターにて入学許可書の提示を受けて、交付します。

学生証の交付は、「入学者の集い」の実施日に行うほか、随時、事務室で行っています。交付を受ける場合は、新入生は本部から送られる「入学許可書」を、在学生は古い学生証を、提示してください。

有効期限内の学生証はそのまま利用できます。

なお、郵送での交付を希望する場合は、所属の学習センター・サテライトスペース宛に、有効期限切れ学生証又は入学許可証のコピー、返信用定型封筒(特定記録郵便320円分の切手を貼付)を同封し郵送してください。

出願時に写真を提出されなかった方は、システムWAKABAの「教務情報→学生カルテ」から直接顔写真の登録を行うか、「学生生活の葉」の巻末の写真票(様式11)を本部学生課に提出してください。

なお、学生証の有効期間は、全科履修生・修士全科生・博士全科生の場合は2年間、選科履修生・修士選科生の場合は1年間、科目履修生・修士科目生の場合は1学期間(半年間)です。

JR等運賃割引証の発行

自宅から学習センターに通学するためにJRの運賃割引を希望する学生は、事務室に備えてある申請用紙に必要事項を記入のうえ、申し込んでください。札幌市営交通(地下鉄・路面電車)及び中央バス等の運賃割引を希望する学生は、定期券売場で学生証を提示して購入できます。

(1) JR

全科履修生・修士全科生・博士全科生に限り、一般普通回数乗車券(11枚綴り)及び学生割引普通乗車券(JRの片道区間100kmを超える場合)を20%引で購入できます。

I. 利用が認められる範囲

教養学部全科履修生、大学院修士全科生及び博士全科生が、自宅「最寄り駅」から学習センター等に、次の目的で通学等する場合

- ① 面接授業(ゼミを含む)の受講及び単位認定試験の受験をする場合
- ② 視聴覚室を利用する場合(原則として、所属の学習センターの利用に限る。ただし、学習上必要であると認められる場合には、所属以外の学習センターの利用も可能である。)
- ③ オリエンテーション及び学習相談への出席
- ④ 教養学部卒業研究の調査のために指導教員の指示により旅行する場合及び、大学院修士全科生・博士全科生が研究指導のため指導教員の指示により移動する場合、又は学外における実習を行う場合
- ⑤ その他大学が必要と認める場合

II. 利用が認められない範囲

①社会体育参加、②サークル活動、③個人的用務、④単位互換のための他大学への通学

(2) 札幌市営交通、バス(北海道中央バス・JRバス・じょうてつバス)

全科履修生・修士全科生・博士全科生の学生が対象となり、通学定期券を購入することができます。

諸証明の発行

在学証明書、成績・単位修得証明書等の各種証明書が必要な場合は、「諸証明書交付願」(『学生生活の葉』の巻末に様式添付)に必要事項を記入のうえ、学習センター事務室、郵送又はメールにより申し込んでください。

詳細は本センター Web サイトの各種お手続きをご覧ください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/hokkaido/procedure/>

証明書の種類及び申請先等は、次項のとおりです。

(『学生生活の葉』を参照)



証明書の種類及び申請先等

| 区分 証明書の 種類 | 証明の内容 | 申請先 | 対象学生 | | | | 集中科目履修生 司書教諭 |
|--|----------------------------------|----------|------|----|----|----------------------------------|-----------------|
| | | | 全科生 | | | 選科履修生 科目履修生 修士選科生 修士科目生 | |
| | | | 学部 | 修士 | 博士 | | |
| ①在学証明書 (英文を含む) | 現在在学している ことの証明 | 学習センター | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ②成績・単位修得 証明書 (英文を含む) | 現在までに修得した 授業科目の単位数 及び評価の証明 | 学習センター | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ③修了証明書 (英文を含む) | 修了したことの証明 | 学習センター | — | ○ | ○ | — | — |
| ④修了見込証明書 (英文を含む) (注1参照) | 修了する見込みで あることの証明 | 学習センター | — | ○ | ○ | — | — |
| ⑤卒業証明書 (英文を含む) | 卒業したことの証明 | 学習センター | ○ | — | — | — | — |
| ⑥卒業見込証明書 (英文を含む) | 卒業する見込みで あることの証明 | 学習センター | ○ | — | — | — | — |
| ⑦在学期間証明書 (英文を含む) | 在学した期間の証明 | 学習センター | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ⑧履修証明書 (英文を含む) | 現在履修している 科目などの証明 | 学習センター | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ⑨教員免許状申請用 の単位修得証明書 (学力に関する証明書) (注2参照) | 教員免許状に関す る授業科目の単位 数の証明 | 所属学習センター | ○ | ○ | — | ○ | — |
| ⑩資格関係の単位修 得証明書(注3参照) | 各資格に関連する 授業科目の単位数 の証明 | 所属学習センター | ○ | ○ | — | ○ | ○ |
| ⑪大学院受験のため の調査書(注4参照) | 大学院を受験する ための基礎資格な どの証明 | 所属学習センター | ○ | ○ | — | — | — |
| ⑫単位認定試験 受験証明書 | 受験したことの証明 | 所属学習センター | ○ | ○ | — | ○ | — |

⑨～⑫の証明書の発行には、1～2週間程度かかりますのでご注意ください。

注 1. 修了見込証明書

修士全科生は入学後1年、博士全科生は入学後2年を超えて在学している方(休学期間を除く)のうち、一定条件を満たした方が対象です。

注 2. 教員免許状申請用の単位修得証明書（学力に関する証明書）

「諸証明交付願」に所持している免許状の種類及び教科と申請する免許状の種類及び教科、教員又は講師としての在職年数などを明記のうえ、所属学習センターに申請してください。この証明書は、現在教員免許状を所持しており、上位又は他教科などの教員免許状を申請する方などが対象です。

注 3. 資格関係の単位修得証明書（学芸員、司書、社会教育主事、司書教諭）

「諸証明交付願」の「その他」欄に資格名を記入し、所属学習センターへ申請してください。また、学芸員については「大学において単位を修得する場合」と「資格認定試験を受験する場合」で証明書が異なりますので、どちらの場合であるかもあわせてご記入ください。その他の資格(税理士試験、保育士試験、社会福祉主事など)については、専用の証明書様式は用意しておりません。必要に応じて①、②及び⑤～⑧の証明書を請求してください。

注 4. 大学院受験のための調査書

【学部全科生】卒業研究を履修中又は履修済の方で、指導教員に調査書の所見欄などの記載を特に希望する場合は、指導教員(放送大学専任教員のみ)にあらかじめ必要事項などを記入・押印してもらったうえで、所属学習センターに交付願いとあわせてご提出ください。申請時に調査書の所見欄などが空欄の場合は、大学であらかじめ用意した記載様式に従い作成します。

【修士全科生】研究指導を履修中又は履修済の方で、指導教員(研究指導責任者)に調査書の所見欄などの記載を特に希望する場合は、指導教員にあらかじめ必要事項などを記入・押印してもらったうえで、所属学習センターに交付願いとあわせてご提出ください。申請時に調査書の所見欄などが空欄の場合は、大学であらかじめ用意した記載様式に従い作成します。

北海道学習センターの客員教員

(五十音順)

| 氏名 | 専門分野 | 所属機関等 |
|--------|-----------------|-----------------------------------|
| 坂本 雄児 | メディア工学 | 北海道大学 名誉教授 |
| 佐藤 洋子 | 看護学 | 北海道文教大学 人間科学部 教授 |
| 澤 聡一 | 臨床心理学 | 北翔大学 教育文化学部 准教授 |
| 鈴木 純一 | ドイツ言語文化 社会思想 | 北海道大学 名誉教授 |
| 田代 亜紀子 | 地域研究 | 北海道大学大学院 メディア・コミュニケーション研究院 准教授 |
| 谷 博文 | 分析化学 | 北海道大学大学院 工学研究院 准教授 |
| 中村 三春 | 日本文学 | 北海道大学 名誉教授 |
| 瀧田 淳一 | 腫瘍生物学 | 北海道医療大学 看護福祉学部 特任教授 |
| 吉野 巖 | 心理学 | 北海道教育大学 教育学部札幌校 教授 |
| 林 松国 | 経営学・商学 | 小樽商科大学 商学部 教授 |

(注) 所属・職名は4月以降変更になる場合があります。

旭川サテライトスペースの客員教員

(五十音順)

| 氏名 | 専門分野 | 所属機関等 |
|-------|-------|----------------------|
| 石塚 博規 | 英語教育学 | 北海道教育大学 名誉教授 |
| 小泉 匡弘 | 技術教育 | 北海道教育大学 教育学部 旭川校 准教授 |
| 高橋 雅治 | 心理学 | 旭川医科大学 名誉教授 |

(注) 所属・職名は4月以降変更になる場合があります。

『てんとう虫』

～学習センターと皆さんとを結ぶ広報・教務情報誌～

『てんとう虫』は、皆さんが学習を進める上で必要な教務等の情報をタイムリーに掲載し、学習成果に少しでも役立つよう編集されています。

『てんとう虫』は、年4回発行され、本センターホームページに掲載します。

道・放大生賛歌

岡田 理江子 作詩
長谷部 美恵 作曲

Moderato

mf

5 6 7 8

1. みどりの だい 地の その なか に
2. みどりの だい 地の その う え に

9 10 11 12

ひ っ そ り た た ず む ま な び や ま な び や
り り し く そ び え る ま な び や ま な び や

13 14 15 16 *cresc.*

き び し い し げ ん を い き ぬ く ち え と
ゆ た か な ぶ ん か を き ず い た こ こ ろ

17 18 19 20

み ら い を ひ ら く ゆ う 気 あ る た ま し い
と も に 一 あ ゆ む き ぼ う の 一 ひ か り

leggero

21 22 23 24

きたの だい地に はぐくま れ た われら 放 だい 生
きたの だい地に つちかわ れ た われら 放 だい 生

25 26 27 28

きたの だい地に はぐくま れ た わ れ ら 放 だ い
きたの だい地に つちかわ れ た わ れ ら 放 だ い

29

1. 2.

> 生生

道・放大生賛歌

(一)

みどりの大地のその中に
ひっそりたえず学び舎
厳しい自然を生き抜く知慧と
未来を拓く勇氣ある魂

北の大地に育まれた我ら放大生

(二)

みどりの大地のその上に
凛々しくそびえる学び舎
豊かな文化を築いた感性 (こころ)
共に歩む希望の光
北の大地に培われた我ら放大生

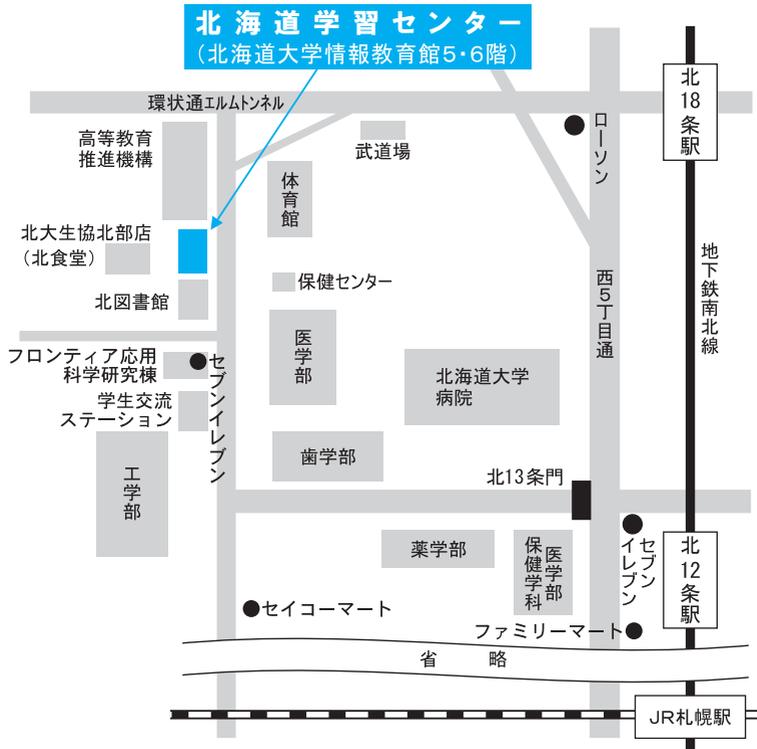
北海道学習センター案内図

住 所：〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学構内(情報教育館)

電 話：011 (736) 6318 FAX 011 (736) 6319

交通案内：① 地下鉄南北線「北18条」駅下車、徒歩約10分

② JR「札幌駅北口」から徒歩約30分



旭川サテライトスペース案内図

住 所：〒070-0044 旭川市常磐公園 旭川市常磐館内

電 話：0166 (22) 2627 FAX 0166 (22) 2676

交通案内：① JR「旭川駅」前から旭橋経由のバスに乗車、「ときわ公園前」下車、徒歩3分
：② JR「旭川駅」から買物公園を通過して、徒歩25分

※駐車場が手狭のため駐車できない場合がありますので、公共交通機関等を利用してください。





利用の手引

-放送大学新入生必携-

2026年3月発行

北海道学習センター

〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学構内

TEL 011-736-6318 FAX 011-736-6319

旭川サテライトスペース

〒070-0044 旭川市常磐公園 旭川市常磐館内

TEL 0166-22-2627 FAX 0166-22-2676

(印刷 岡本印刷(株))